

TOHOKU
UNIVERSITY

東北大学

TOHOKU UNIVERSITY

TAIYO YUDEN

Press Release

2024年12月9日

報道機関 各位

国立大学法人東北大学
太陽誘電株式会社

太陽誘電株式会社と東北大学が共同研究部門を開設 水素製造等の高温エネルギー変換デバイスの開発を加速

【発表のポイント】

- 2024年10月1日に太陽誘電株式会社と東北大学グリーンクロステック研究センターが共同研究部門を開設しました。
- 太陽誘電株式会社の技術ノウハウと東北大学の先端研究リソースを融合します。
- 発電、水素製造等に用いる高温エネルギー変換デバイスの評価・解析技術の向上と高信頼性の確保を図ります。

【概要】

太陽誘電株式会社（本社:東京都中央区、代表取締役社長執行役員:佐瀬克也、以下、太陽誘電）と国立大学法人東北大学（総長:富永悌二、以下、東北大学）は2024年10月1日に高温エネルギー変換デバイスの技術開発促進を目的として、共同研究部門を開設しました。

太陽誘電は、素材の開発から出発して製品化を行うことを信条とし、創業以来培ってきた独自の要素技術にさらに磨きをかけ、エレクトロニクス技術の進化を支えてきました。そして、そのモノづくりの技術やスキルの高度化をグリーン技術課題にも展開しています。一方、東北大学は、グリーンクロステック研究センター、SOFC/SOEC実装支援研究センター[注1]など、高温作動の燃料電池・水素製造デバイスに関する研究リソースが充実しています。

今回設置された共同研究部門では、太陽誘電の技術ノウハウと東北大学の先端研究リソースを融合し、これら高温エネルギー変換デバイスの重要課題である評価・解析技術の向上と高信頼性の確保を図り、早期の社会実装に向けた研究開発を加速します。

【部門名称】 高温エネルギー変換デバイス共同研究部門

【研究内容】 高温エネルギー変換デバイスの開発・評価手法の確立

【設置期間】 2024年10月1日～2027年9月30日(3年間)

【部門構成】

高村 仁（教授：大学院工学研究科/グリーンクロステック研究センター）

川田達也（教授：大学院環境科学研究科/グリーンクロステック研究センター）

佐藤一永（准教授：大学院工学研究科/グリーンクロステック研究センター）

黄 怡暉（特任助教：グリーンクロステック研究センター）



「高温エネルギー変換デバイス共同研究部門」参画メンバー

【用語説明】

注1. 東北大学 SOFC/SOEC 実装支援研究センター：2023年7月10日にSOFC/SOEC技術の早期社会実装を支援することを目的として東北大学大学院工学研究科と大学院環境科学研究科が共同で設置。複数業種の企業と東北大学のSOFC/SOECに関する研究グループからなる共創プラットフォーム。

<https://www.tohoku.ac.jp/japanese/2023/07/press20230710-01-grenn.html>

【問い合わせ先】

(研究に関すること)

東北大学大学院工学研究科/グリーンクロス
テック研究センター

教授 高村 仁

TEL:022-795-3938

Email: takamura@material.tohoku.ac.jp

(報道に関すること)

東北大学グリーンクロステック研究センター
支援室

支援室長 渋谷 耕司

TEL:022-752-2366

Email: green-x-tech@grp.tohoku.ac.jp